

平成 29年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生きがい推進課、文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	218,480,000円(平成29年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期
利用者数(単位:人)		113,653	91,423	104,402	93,500	107,085
各室稼働状況(%)	大研修室	87.1	87.6	85.9	79.1	84.2
	中研修室	94.7	94.4	93.5	93.8	93.6
	研修室50	90.6	90.4	92.4	89.3	92.4
	研修室30	94.1	96.0	95.9	96.6	95.9
	小研修室1	98.8	98.9	98.8	99.4	99.4
	小研修室2	97.1	96.6	98.2	96.6	97.1
	小研修室3	92.4	92.7	95.9	98.3	96.5
	小研修室4	97.1	96.6	99.4	98.3	98.8
	和室研修室1	42.9	36.2	31.8	2.8	29.2
	和室研修室2	97.1	93.8	96.5	15.8	95.9
	音楽スタジオ大	91.2	88.7	93.5	91.5	96.5
	音楽スタジオ小1	87.1	81.4	92.4	91.5	87.1
	音楽スタジオ小2	61.2	58.8	67.6	71.2	76.0
	パソコンルーム	84.1	81.4	83.5	82.5	84.8
	クラフト室	82.4	84.2	79.4	73.4	80.1

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②各事業の実施に必要な人員を配置し、対応している。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①現代的課題を中心にした学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる市民講師等人材の養成 ③生涯学習・ボランティア情報の提供及び相談の充実 ④生涯学習拠点施設としての機能の充実 2. 男女共同参画推進業務 ①学習研修機能の充実 ②情報の収集と発信 ③グループや団体とのネットワークづくり ④女性相談の充実 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャーなど8講座開催、延べ641人受講、ITコラボレーター会と協働でパソコン講座(16講座各7回)を開催、延べ3,186人受講。 ②市民自主講座37講座開講、市民講師ステップアップ講座開催、40人受講。ボランティア基礎講座開催、30人受講 ③市民活動ルームを運営(延べ6,438人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(238件の相談、64件のボランティアコーディネート)。 ④にぎわい創出事業 大道芸に挑戦しよう(2日間:155人参加)。おいでよ交流サロン(2日間:120人参加)。ハートフルスクエアG情報誌の発行(12月、3月)。ハートフルフェスタ2018を開催、地域貢献事業として、美濃中山道ふるさと祭りや清水川さくらまつりに出展(延べ850人参加)。 2. 男女共同参画推進業務 ① お出かけお出迎え! 男女共同参画出張セミナーなど6事業開催、延べ501人受講。 ②「岐阜市女性センターNEWS」2号発行(12月)、男女共同参画啓発誌「Light」(3月)の発行。 ③ 男女共同参画週間事業など4事業開催、延べ10,123人受講。 ④ 電話・面接相談など3事業開催、延べ相談件数643件(電話相談:403件、面接相談:185件、大相談会:55件)。 3. 市民芸術文化振興業務 ①岐阜市民文化祭(美術展覧会、芸術祭、文芸祭)の開催。 第70回岐阜市美術展覧会記念展の開催。 ②自主事業の実施 市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成12件(上半期3件、下半期9件) 岐阜市芸術文化奨励賞2名 ③岐阜市美術展覧会、岐阜市民芸術祭の開催。 岐阜市文芸祭(一般の部、小・中学生の部)の開催。 ④市芸術文化協会との連携によるリレートーク(上半期2回、下半期1回)、まちかどコンサート(上半期1回、下半期2回)の開催(交流サロン)、広報誌の発行(11月、3月)
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃 (15・10項目)(年2回) 〃 (12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①2/27に実施 ②11/22、1/23、3/14に実施 ③毎週水曜日に実施 1/30に実施 上半期に実施 ④1/30に実施 ⑤2/27に実施 ⑥3/9～/23に実施 ⑦11/9、1/17、3/7に実施 ⑧12/26に実施 ⑨2/27に実施 ⑩2/28に実施 ⑪実施しない
	定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回)	定期点検業務 ①10/31、11/30、12/31、1/30、2/28、3/31に実施 ②10/31、11/28、12/26、1/30、2/27、3/27に実施 ③11/28に実施 ④12/26、2/27に実施 ⑤10/31、11/28、12/26、3/27に実施 ⑥上半期に実施 ⑦11/28、3/27に実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	10月8日～14日、11月22日～28日、12月15日～21日、1月8日～14日、2月15日～21日、3月1日～7日 アンケート総数：180件
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 6.1%、中研修室 8.3%、研修室50 10%、研修室30 11.7%、小研修室1 13.3%、小研修室2 8.9%、小研修室3 13.9%、小研修室4 11.7%、和室研修室1 2.2%、和室研修室2 5.6%、音楽スタジオ大 1.1%、音楽スタジオ小1 2.2%、音楽スタジオ小2 0.6%、クラフト室 3.8%、パソコンルーム 0.6% ○スタッフの対応について 満足 68.3%、やや満足 16.1%、ふつう 14.4%、やや不満 0.6%、不満 0.6% ○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 64.0%、やや満足 20.8%、ふつう 12.9%、やや不満 2.2%、不満 0.5% ○全体的な満足度 満足 67.8%、やや満足 19.2%、ふつう 13.0%、やや不満 0.0%、不満 0.0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	10月1日AM5時に来年1月のネット予約のためアクセスしましたが、すでに小研修室4の他、殆どの研修室の午後は空きがなく困ってしまいました。毎年1月にはこういった状況がおきているのは何故でしょう？ → 毎年1月は、全館で開館記念フェスティバルを開催するため、開催日前日午後～期間中はご利用いただけません。大変申し訳ございませんがご了承ください。(2018年開催日：1月20日(土)21日(日)、27日(土)、28日(日)) 他のスタジオの音がもう少し防音されるとよい。 → 音楽スタジオは防音にはなっていますが、大音量の場合、音が響くこともあります。音が響くと困る場合は、予約の際にお伝え下さい。隣のお部屋の予約を大音量不可に制限いたします。但し、予め隣のお部屋の予約が入っている場合は、先に申し込みされた方に制限することはできませんので、何卒ご了承ください。 中・大研修室は奥まっているため、エントランスに看板、案内をさせてもらえるとありがたい。 → エントランス等に看板・案内を出すことは可能です。 貸出用の案内板を用意しておりますので受付時にお申し出ください。 傘立ての中に袋(菓子)とペットボトルが入っていました。 → 申し訳ありません。利用された方へは、利用後に清掃・施錠等のチェック表を記入いただくことで原状復帰をお願いしておりますが、ゴミの持ち帰りについても改めてお願いしていきます。今後もお気づきの点がございましたら、職員までお声がけください。 予約が電話やインターネットでできると、更に便利だと感じました。 → いつもご利用ありがとうございます。お電話での予約はできませんが、岐阜市公共予約システムに登録された方は、インターネットからの予約が可能になります。非営利団体で、登録口座からの引き落としにてご利用いただけます。詳細は職員までお尋ねください。 使用料は利用当日にしか支払えないことになっているが、利用日より前に支払いができるようにならないか、検討して欲しい。(営利団体のためシステム登録はできない) → 貴重なご意見ありがとうございます。所管課と協議させていただきます。ご意向に沿えるか分かりかねますが今後も利用者の方に使いやすい施設を目指してまいります。 パントリー洗剤や付近を定期的に補充していただきたいと思います。お湯の出も悪い。 → 大変ご迷惑をおかけいたしました。今後は点検・補充を徹底いたします。パントリーの給湯器は、12月の休館日に新しい給湯器に取り替えを行いましたので、ぜひご利用ください。 施設利用(AM・PM)の駐車料金が安いという点のみです。 → 減免時間と駐車場料金設定に関して、条例の改正の可否も含めて所管課と協議させていただきます。ご意向に沿えるかわかりませんが、今後も利用者の方に使いやすい施設を目指してまいります。 隣室の声(大きすぎる)が響いていました。 → 大変申し訳ありませんでした。小研修室は壁1枚で隣り合わせになっており、声が聞こえてしまう場合があります。利用者の皆様には大きな音での研修は控えていただくようお願いしておりますが、このような時は職員より隣のお部屋にお声がけいたしますので、お申し付けください。 ほかの会場が空いていたら、電話か当日変更できたらうれしいです。 → 大変申し訳ございませんが、現在は電話での変更や当日変更は承っておりません。ご了承ください。 トイレの便座が冷たいです。 → 現在、当施設では設備上暖房便座を設置しておりません。申し訳ございません。ご要望については岐阜市と協議させていただきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住 民 の 平 等 利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能（アンケート）等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
	施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A	
区分評価					S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
	区分評価					A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
	区分評価					S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	生涯学習センター 指定管理仕様書・事業計画書及び「岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市芸術文化振興指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。 <実施事業> 生涯学習係 ・一般市民を対象とした講座事業では、市民の声に耳を傾け、実施することができた。 - ハートフルレクチャーでは、上半期に実施した「奇想の画家 若冲・蕭白・蘆雪」の受講者からの要望により、「曾我蕭白 気迫とユーモア」を実施した。対象人物を絞った講座を実施することで、学びを深めることができた。 - ふるさと発見講座では、12月に実施した「岐阜の地犬『美濃柴犬』」の受講者からの要望により、一般社団法人 岐阜県美濃柴犬保存会の協力を得て、美濃柴犬の写真展示を行った。それにより施設利用者に対しても学習機会を提供することができた。 - 各種団体との連携講座では、要望の多い「初心者のためのタブレット講座」を実施した。定員30名に対し150名の応募があった。今後、市民ニーズを踏まえながら連携先と協議し、継続した事業の実施を検討していきたい。 ・新規に行った事業では、前事業から発展し実施することができた。 - 受託事業であった生涯学習によるまちづくり人材養成事業は、今年度より指定管理事業として実施した。学ぶ内容について、柔軟に計画し実施することができるようになり、1つの内容について単発の講座ではなく連続講座にすることにより、受講者にとって学びを深めることができた。 - パソコン指導者養成講座は、新規にパソコン指導者を養成する講座であったが、今年度からは、既に地域でパソコン指導をしている方を対象として実施した。ワード、エクセル、パワーポイントのいずれか自身が受講したい講座を受講することにより、より専門的に学ぶことができ、以前の講座よりステップアップした内容となった。 - 災害・防災関連事業「我が家と家族を地震から守る！～避難所に行かないための防災～」では、ボランティアも対象とした事業から発展し、募集対象を幅広く設定し実施したことで、市民が防災に対する理解と意識を高め、防災を知る機会を提供をすることができた。 ・市との共催で平成29年度生涯学習「長良川大学」単位認証式及び講演会を、みんなの森ぎふメディアコスモスで実施した。指定管理者のノウハウを生かし、広報や申込者の処理、当日の受付対応など市と協力して実施した。 ・市民自主講座を実施した結果、自ら講座で作成した作品の展示やハートフルフェスタでの展示発表、サークル化へつなげた講師もあり、市民講師の育成に寄与することができた。 ・職員のスキルアップのため、相談コーナー担当職員がボランティアコーディネーション力3級を取得した。 ・相談コーナーを見直し、施設利用者がチラシを閲覧しやすいようチラシラックの位置を変更し、またボランティア募集の掲示は、相談コーナーの近くに配置することで、より効果的な配置に変更した。 文化振興係 ・美術展覧会において、美術展70周年を記念し、岐阜市民会館にて過去に市展賞(最高賞)を受賞された方々の作品を展示した。100名から111点の作品を出品していただくことができた。急遽、開場式やギャラリートークを行ったことにより、来場者から大変好評を得ることができた。入賞者数は1,451人となり、多くの方々に鑑賞していただいた。 ・岐阜市民芸術祭演劇の部において、延べ36ステージで3,806名の方にご覧いただき、3年連続で3,000人を超えることができた。演劇を様々な方に楽しんでいただけるよう、引き続き聴覚障害者に対する観劇支援を行った。また、シーン中、観劇支援用の機器の破損などがあったことから、チェックリストの作成や機器の更新など安定的に提供できるような体制を整えたい。 ・文芸祭(一般の部)は、28年度に比べ応募点数が192点増加した。上期に信長公川柳コンクールを開催したため、応募に対する減少を心配したが、短歌・俳句の応募増加が目立った。11月に入賞入選作品の展示と表彰式を行った。 <施設管理> ・利用者からの要望を基に、改善すべきことを検討し、以下の事項に取り組んだ。 ① 館内案内看板(トイレ・エレベーター)の設置(館内案内がわかりにくいため) ② 駐車場満車案内看板の設置(駐車場の空き状況がわかりにくいため) ③ 研修室用椅子清掃(椅子に付着したシミ・汚れを清掃し、快適に施設利用をしてもらうため) ④ 3階駐車場 照明の間引き見直し(省エネの一環として間引きをしていたが、場内が暗いと危険に感じるため) ⑤ 研修室用プロジェクタの入替(利用者が持参した最新PCやタブレットにも接続できるようにするため) ・事故防止対策としての日常点検を強化し、見つかった危険箇所は迅速な改善を実施した。 ① 3階駐車場 区画線の塗替え(劣化した区画線の塗替えを実施し、場内での事故を未然に防ぐため) ② こどもの部屋内授乳室 鍵の設置(子どもの部屋利用者に安心して授乳室を利用してもらうため) ・防犯強化策として、1階・2階出入口に新たに防犯カメラを設置した。(岐阜市2台、事業団1台)防犯カメラによる抑止力効果を最大限に生かすため、職員や警備員の巡回を増やすと共に置引き防止等の注意喚起の掲示を増やした。また、不審者情報等をハートフルスクエア―G全体で情報共有し、連携して対応している。 ・生涯学習・ボランティア相談コーナーおよび女性センター情報コーナーの機能拡充に伴い、スペースの見直しを実施し、利用者への幅広い情報提供ができるよう改善を行った。 ① 不足している掲示板の設置 ② 看板・多言語サインの設置 ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施している。また、予約システムへの登録について窓口・電話等で積極的に行った。 <リスク対応> ・個人情報保護担当者を配置し、個人情報管理の徹底を図った。 ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
--------------------------	---

	・ 非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、緊急地震速報対応訓練・消防訓練を実施した。また日頃から、緊急時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。 ・ 施設設置のAEDを的確に使用出来るように職員全員が普通救急救命講習を受け、応急手当協力事業所として登録を行っている。また、今期は、職員1名が上級救命講習を受講し、多様な利用者への対応に努めている。 ・ プロパー職員全員が防火管理者の資格を取得し、館内の防災意識を高めた。 ＜受入れ事業＞ ・ 市外中学校からの依頼により、中学生職場体験プログラムの受入れを行った。10月24日・25日の期間で1名を受け入れ、生涯学習センター・女性センター等で様々な体験の場を提供した。 ＜その他＞ ・ 応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。 ・ 快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。 女性センター 指定管理仕様書・事業計画書及び岐阜市男女共同参画基本計画に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、主催事業の開催について計画通りに実施した。 ＜実施事業＞ ・ 「女性の活躍スキルUPアカデミー（起業・創業編）」の受講者に「ハートフルフェスタ2018」への出展を呼びかけ、3人の受講者がブース運営を経験し、起業に向けて更に前へ踏み出せるよう支援した。 ・ 男女共同参画をより深く理解してもらうため、新たに男女共同参画啓発誌「Light」（男女共同参画社会ってなあに？）を作成した。また、その内容を要約したパネルも合わせて作成した。 ・ 分散していた子育て情報・労働情報コーナーを移転し、図書類と合わせて新たに「女性センター情報コーナー」としてリニューアルした。 ・ HAPPY DAYを従来の11月からハートフルフェスタ2018期間内（1月）に変更したことを周知できるよう幼稚園等にチラシを配布したところ、例年以上の来館者で賑わった。 ・ HAPPY DAYとハートフルフェスタ2018を統合したことにより、親子連れからシニア世代まで幅広い年齢層の方が来館し、市民団体や関係機関にとっても新たな年齢層に啓発できるという効果があった。 ・ 「女性の生き方・働き方大相談会」では、前回の結果を見直し、相談内容をより市民に関心のあるものに入れ替え充実を図った。 ・ 電話相談において、悩める方々のために問題解決の糸口を見つけ出せるよう努めた結果、電話相談件数は、833件（昨年度比：37.7%増）になった。また、必要に応じて電話相談のケース検討会を開催し、職員の専門性を高めた。 ・ 「お出かけお迎え！男女共同参画出張セミナー」として、岐阜大学（12月）、中部電力系企業（3月）に講師として出向き、職員の専門性を発揮することができた。 ＜その他＞ ・ 職員が防災士の資格を取得し、防災訓練時などにおいて防災・減災の意識啓発に努めた。 ・ 女性センターパンフレットを作成し、広く市民や各関係機関にセンター機能などのPRを行った。 ・ こどもの部屋のおもちゃで使用頻度の高いものを入れ替え、衛生面に配慮した。
前回までの意見の 取組み状況	生涯学習センター ・ 応募者が多かった講座（脳科学からみた”怒り”との上手な付き合い方等）は、席数を増やすなど出来るだけ多くの方に受講していただけるよう工夫・対応した。また、過去に人気のあった講座は、引き続き同じ講座を開催したり、発展的な内容で講座を開催するなど多くの方に参加していただけるよう機会を設けた。 ・ 市民講師の育成において、ステップアップ講座として「魅力ある講座とチラシのつくり方」の講座を実施した。前年度に比べ、より実践的な内容とし、市民自主講座の運営に活かすことができるようにした。 ・ 市民講師が継続して発表・活動ができるようサークル化の案内や作品展示を促進をした。 女性センター ・ 伴走型の支援として、セミナー受講者が更なる活躍の場を広げるため、フェスタにおけるブース出展の呼びかけを行い、また、事前準備や当日の対応について、キャリア形成支援士の資格を生かしてアドバイスを行った。
	・ 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「第3次男女共同参画基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、事業展開を行っていく。 生涯学習センター ・ 生涯学習拠点施設として、「生涯学習によるまちづくり」と「生涯活躍社会」の構築を目指し、引き続き職員全員が共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。 ・ 施設利用者や講座受講者からいただく声に可能な限り応えられるよう、内容によっては所管課の指導を受けながら迅速な対応を心がけ、公共施設としての役割を果たしていく。 ・ 生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題・地域課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。 ・ 事業計画に基づき「生涯学習によるまちづくり人材養成事業」、「パソコン指導者養成事業」などを実施し、将来的に岐阜市において地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成に努める。

今後の取組み	・平成29年度において新規事業として行った事業について、事業の内容や取り組みを振り返り、より充実した事業となるよう努める。 ・市民自主講座の開講支援事業において、開講講師の「中間報告会」や受講者アンケートなどで得た意見を基に運営方法の工夫改善に取り組み、次年度の計画を進める。 ・市民自主講座の広報方法について、講師や市民からの要望で、ジャンルごとの掲載を希望する声が多くあり、平成30年度の市民自主講座について、ジャンルごとの掲載とし広報活動を進める。 ・「地域貢献事業」・「ハートフルフェスタ」の実施やホームページ・情報誌などを活用し、市民のニーズに応じた情報の発信に努める。また、みんなの森ぎふメディアコスモスやコミュニティセンター、公民館など地域に密着した施設と連携を図ること、相乗効果による情報の共有・発信の充実に努める。 ・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、27年度より継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。 ・来年度の美術展は、ぎふメディアコスモスでの実施に向け、前々回の課題であった作品の搬入出方法や展示方法などについて検討し、よりよい美術展になるよう計画を進めていく。 女性センター ・男女共同参画啓発誌「Light」は、公共施設に配布するほか、主催講座や出張講座のテキストとして利用する。 ・男女共同参画啓発パネルは、情報コーナーや館内壁面などに展示し、希望あれば貸し出しも行う。 ・分散していた情報コーナーを集約したのを生かし、継続して男女共同参画の啓発ができるよう、常に新しい情報の入手に努める。 ・市民団体や学校関係に加え、事業者などと協働し更なるネットワークを形成していく。 ・相談員のスキルUPを図るため、研修に参加し学びを深める。
---------------	---

●所管課の意見

生涯学習センター

・引き続き、個人情報について、個人情報保護担当者を配置し、「個人情報保護宣言」「公表事項に関するご案内」をホームページ及び窓口に掲示しており、適正に対応していると思われる。また、広報についても、ホームページが見やすく、広報ぎふにも講座等の案内を掲載しており、評価できる。

・下半期の講座については、半分以上の講座で定員以上の応募があり、平均応募率が100%を超えており、講座の企画等、素晴らしいと思われる。昨年度実施した講座で好評を得た講師については、今年度内容を変えて講座を実施した。また、今年度好評を得た講座については、年度内に施設内で写真展示を行うなど、ニーズにあった対応をしており、評価できる。

・利用者アンケートを毎月実施しており、アンケートに基づいて優先順位を付け、利用者の安全を第一に考え、施設修繕、改修を行っており、評価できる。

・施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために高いレベルで対応できていると思われる。上級救命講習受講及び防災士の資格取得等、ハートフルスクエア－Gが緊急時、災害時の避難所としての対応及び避難誘導・救助を想定した対応に備えており、この点も評価できる。

・地域のまつりにもブースを出展し、地域との連携を深め、にぎわいも創出し、生涯学習の様々な情報発信にもつなげた。

・トイレ及びエレベーターの表示を施設内に増設した。施設内の利用者に配慮し、評価できる。

・文化振興業務についても、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が積極的に展開されている。
70回を迎えた美術展覧会は、開催場所を「岐阜市文化センター」へ変更して開催した。（ぎふメディアコスモスは信長公450プロジェクト事業の一環である、信長公ギャラリー開催のため使用できなかったため）ぎふメディアコスモスで行った場合と比べると入場者数は減少したが、70回にふさわしい展覧内容であった。また、70回を機に、過去に受賞した市展賞を111点準備し、多くの方に今までの美術展覧会の軌跡や功績を見ていただいた。記念展覧会を開催したことは高く評価できる。

女性センター

・男女共同参画拠点施設として、岐阜市の男女共同参画基本計画に基づき事業が展開され、セミナーの高い応募率があることは期待通りに評価できる。また、職員の専門性を生かし、新たに啓発誌を作成、配布するなど、精力的にアウトリーチに努めていることも大変評価できる。情報コーナーのリニューアルにおいては、来館者が利用、活用しやすいよう、レイアウトの工夫に努め、女性のための情報がワンストップで得られるよう情報収集にも努めている。今後も、より利用者が活用しやすいセンターとなるよう努めていただきたい。

●指定管理者評価委員会の意見

・施設の管理においては、施設の安全に留意した管理がしっかりとされている。
生涯学習センターも女性センターも、講座の企画について幅広い分野で非常に良い企画をしている。また、時代のニーズにあった講座を実施している点を評価したい。今後も大いに期待する。